

[いのちの大切さについて考える]

学習指導案 「薬物から身を守るには？」

1 主題設定の理由

覚醒剤などの薬物乱用の問題は大変根深く、低年齢化なども進み、依然として大きな社会問題のままである。その中でも、特に青少年が薬物に手を染めてしまう原因のひとつとして、無知・無関心につけこまれてしまうということがあげられるのではないか。たとえば、薬物の名を変えて勧められ、それとは知らずに使用してしまう。あるいは、「合法ドラッグ」「脱法ドラッグ」などと称してあることで、深く考えもせず法律には違反していないと勘違いをしてしまう。また気が進まなくても、勧められるままに断り切れずに軽い気持ちで受け入れてしまう、などである。

こういった不幸な事例を防ぐために、まず何よりも正確な知識を身につける必要があり、加えて拒絶する強い意志を持たなければならない。よって、薬物乱用と健康の関わりを正しく認識し、判断力・規範意識を向上させ、自らの健康を害する行為をしないという態度を身につけることを目的とする。

2 対象生徒 1~3学年

3 本時のねらい

- (1) 薬物が、姿を変え呼び名を変えて次々に登場している現実を知り、正確な情報を得る。
- (2) 薬物を勧められた時に、どのように断るか、ロールプレイングの形で学び合う。

4 事前の準備

- (1) なるべく新しい薬物の種類の一覧
(本誌p94~95や保健の教科書を参考にする。また『ダメ。ゼッタイ。』のホームページなども参照)
- (2) ロールプレイングのために男女混合4人ずつの班を作る。
(薬物を勧める役、断る役、観察・批評・記録をする役2名)
- (3) 記録用紙

5 展開

項目	内容	留意事項	時間
導入	・本時のねらいを説明する。	・2つあるねらいのうちのひとつは班に分かれてのロールプレイングであることも説明する。	5分
展開	・薬物の種類などを資料を使って学ぶ。 本誌p93~95を読み、薬物の俗称や略称、薬物でない形で販売される例などを知る。	・無知・無関心が想定外の事態を招きかねないことを伝える。	10分

	<ul style="list-style-type: none"> ・班に分かれて、勧められた薬物の断り方をロールプレイングする。 ①本誌p92にある物語1の続きを実際に演じて、上手な断り方を班員全体で考える。演技者の反省や感想、観察者からのアドバイスなどを発表し合う。 ②本誌p92物語2も同様に行う。 ・時間があれば役割を交換してもう一度行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語1は、先輩に勧められており非常に断りにくい。この難しさをどのように乗り切るのか。 ・物語2は、行きずりの相手ではあるが、とにかくしつこく勧めてくる相手、という設定で演じてもらいそれを断る効果的な方法を探っていく。 ・ 	25分
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学んだ断り方の工夫や注意点を班ごとに発表する。 ・記録用紙を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物を毅然とした気持ちで拒否することを確認するとともに、相手から逆恨みされないですむような断り方が重要であることも伝える。 ・最後に、薬物を使用している事実を知ったら、その人のためにも、警察や信頼できる大人に相談する必要があることを伝える。 	10分
評価	<p>ねらいを理解して真面目にロールプレイングに参加できたか。</p> <p>記録用紙の中からよいものを選び、全員に示す機会を作り、全員の知恵としていきたい。</p>		